

6月のイチオシコンテンツ一覧

※4月12日時点での情報
※タイトル・イチオシ順等は変更になる場合があります



新番組「WILD LIFE 大自然への讃歌」	
1	映画『フリーソロ』でアカデミー賞®長編ドキュメンタリー部門を受賞したジミー・チン、エリザベス・チャイ・ヴァサルヘリが制作。パタゴニア、ザ・ノース・フェイス、エスプリといったアウトドアブランドを立ち上げたクリス・トンプキンス、ダグラス・トンプキンス夫妻は、チリ、アルゼンチン全域などで国立公園の設立を行った。夫婦の愛、そして地球への愛に溢れた本作は、その人間性と先見性に、見る者すべてが魅了される。
新番組「ボナペティ！ローカル・キュイジーヌ」	
2	リアリティ料理番組『トップ・シェフ』でチャンピオンにもなったシェフ、クリステン・キシュが、料理界の異端児に会うべく、遠く離れた地を訪れる姿を追ったドキュメンタリー。地球上で最も離れた場所で、思い出に残る食事を提供するために奮闘するシェフたちのもとを訪れ、どのようにして多くの困難を克服しているのかを探っていく。
新番組「ヒトラーの黙示録：西部への侵略」	
3	1940年5月10日、アドルフ・ヒトラーはヨーロッパ侵攻を開始。短期間のうちにオランダ、ベルギー、北フランスに侵攻し、パリに到達したヒトラーが次に目指すはロンドン。果たしてチャーチルはヒトラーを止められるのか。第二次世界大戦の口火を切った電撃戦からロンドン大空襲まで、ヒトラーがヨーロッパにもたらした黙示録を追う。
新番組「ヒトラーの黙示録：東部への侵略」	
4	1941年6月22日、ヒトラーはスターリンとの不可侵条約を破り、ソ連への攻撃を開始。「バルバロッサ作戦」で短期間のうちにソ連の広大な領土を奪い、ドイツ人の生存圏を東方に拡大しようとする。しかし冷酷非情なヒトラーのやり方は、ソ連の人々の士気を高める結果となり、ドイツ軍の行く手に暗雲が立ちこめ始める。
新番組「俯瞰解析：第二次世界大戦の激戦地」	
5	第二次世界大戦の秘密を、上空からの視点に焦点を合わせ新たな方法で明らかにしていく。ノルマンディー上陸作戦やダンケルクの戦いの戦地、ナチスの極秘防御施設などを実際に訪れ、その土地の現在の様子を、当時の航空写真を重ねることで第二次世界大戦を追体験する。
新シーズン「メーデー！21：航空機事故の真実と真相」	
6	航空機が墜落するたびに世界の注目が集まり、航空産業の専門家たちは真相究明に乗り出す。本シリーズでは、航空史上に残る事故の真相を明らかにする。目撃者の証言や精緻な再現ドラマ、最先端技術のコンピューター・グラフィックスなど、あらゆることを駆使して航空機事故の真実に迫る。
新シーズン「潜入！ブラックマーケットの実態 3」	
7	ジャーナリスト、マリアナ・ヴァン・ゼラーが世界各地の危険なブラックマーケットを調査するシリーズの続編。今シーズンはマリアナがコロンビアとメキシコの2カ国を訪れ臓器売買の実態に迫ったり、世界中で行われているサイバー攻撃やLSDを製造する化学者、密売人などを詳しく調査する。
新番組「絶体絶命！キリン救出大作戦」	
8	ケニア、バリンゴ湖の半島で保護されていた8頭のロスチャイルドキリンが、豪雨により湖の中の小さな島に取り残されてしまう。島には十分な食料がないうえ、水辺の捕食動物に襲われるリスクも高い。地域のコミュニティ、保護区のレンジャー、動物保護団体が力を合わせ、前代未聞のキリン救出作戦に乗り出す！
特別編成「特集：第二次世界大戦」	
9	第二次世界大戦のさまざまな映像資料を通して、戦争の残酷さを伝える特集。大戦の口火を切った「西方電撃戦」や「バルバロッサ作戦」、そして大戦の激戦地を上空からの視点により新たな方法で明らかにしていくなど、現代の最新科学によって明かされる真実に迫る。日本初放送の6タイトルは必見！
特別編成「【特別編成】世界環境デー」	
10	毎年6月5日は世界環境デー。世界各国でさまざまな取り組みが行われている記念日に、自然、環境に関する番組を夜8時から3作品放送する特別編成。自然保護活動家クリス・トンプキンスと起業家ダグ・トンプキンス夫妻が、チリとアルゼンチンに国立公園を作るという取り組みから、史上最大の私有地寄付の実現に迫った『WILD LIFE 大自然への讃歌』は必見！
特別編成「【最新シーズン開始直前】潜入！ブラックマーケットの実態 2 一挙放送」	
11	最新シーズンを6/20(火)22:00から放送開始予定の『潜入！ブラックマーケットの実態』。その放送開始前に前シーズンをおさらいする一挙放送をお届け！シーズン2ではマリアナが、アメリカ国内での違法大麻市場やモーターサイクルクラブなどについて調べる。また、アフリカや南米など世界各地に飛び、車両窃盗やロマンス詐欺などについても詳しく調査する。